



## 平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワニシホールディングス  
コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

(氏名) 野瀬 洋輔  
(氏名) 高井 平

TEL 086-245-1112

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	15,591	5.9	54	△12.7	54	△0.5	13	△63.7
23年6月期第1四半期	14,724	10.1	62	—	54	—	37	—

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 △2百万円 (—%) 23年6月期第1四半期 41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	2.44	—
23年6月期第1四半期	6.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第1四半期	23,365	1,981	8.5	353.18
23年6月期	20,402	2,039	10.0	363.55

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 1,981百万円 23年6月期 2,039百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,339	5.9	303	4.0	287	3.6	142	△8.7	25.36
通期	65,035	4.7	639	7.8	606	5.6	294	△5.6	52.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期1Q	6,250,000 株	23年6月期	6,250,000 株
----------	-------------	--------	-------------

- ② 期末自己株式数

24年6月期1Q	639,126 株	23年6月期	639,126 株
----------	-----------	--------	-----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期1Q	5,610,874 株	23年6月期1Q	5,610,966 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ(定性的情報・財務諸表等)(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は155億91百万円（前年同期比 5.9%増）、連結経常利益は54百万円（前年同期比 0.5%減）、連結四半期純利益は13百万円（前年同期比 63.7%減）となりました。

なお、連結四半期純利益が前年同期比で大きく減少しておりますのは、前第1四半期連結累計期間に、子会社の合併に関して税効果会計を適用し繰延税金資産を計上したため、法人税等調整額が減少したためです。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

#### 〈医療器材事業〉

手術関連消耗品は、引き続き順調に成長を継続しております。特に、商権獲得が進んだ島根、兵庫、香川、徳島の売上高は前年同期比で10%超の増収となりました。その結果、手術消耗品全体の売上高は前年同期比106.6%となりました。

整形外科関連商品は、本年6月に㈱カワニシ広島支店が受けた行政処分の影響がありましたが、関西地域（奈良、大阪）でのシェアアップが進み、整形外科関連商品全体の売上高は前年同期比101.7%となりました。

循環器関連商品は、前第1四半期連結累計期間に心臓カテーテル検査治療関連の大型設備機器を受注した反動もあり、設備関連の売上高は54.6%減少しました。しかし消耗品は、新規顧客開拓が成功した山口での売上が大きく伸びた他、本年5月に発売された薬剤溶出ステント及び不整脈治療関連商品も売上高を押し上げました。その結果、循環器関連商品全体の売上高は前年同期比103.4%となりました。

その他、眼科関連商品も前年同期比118.7%と好業績を上げましたが、前第1四半期連結累計期間の大型設備・備品の販売の反動もあり、医療器材事業は、売上高129億20百万円（前年同期比 2.0%増）、営業利益76百万円（前年同期比 19.1%減）となりました。

#### 〈ライフサイエンス事業〉

いくつかの急性期大病院において、これまで外部に委託していた検査の一部を内製化したことに伴い、免疫系試薬の販売が大きく伸び、診断薬領域の売上高は前年同期比121.5%となりました。

基礎研究領域の売上高は、研究費の3割削減（現在、3割削減の方針は撤回されました）の影響から、岡山では買い控えが広がり、前年並みに留まりましたが、広島での顧客開拓の成果により、前年同期比106.1%となりました。

利益面では、販売管理システムの更新を行ったため、販売管理費の増加が利益の増加を上回りました。

その結果、ライフサイエンス事業は、売上高10億72百万円（前年同期比 13.7%増）、営業損失16百万円（前年同期 営業損失10百万円）となりました。

#### 〈SPD事業〉

医療材料の一括購買窓口を受託した施設数が増加したため、売上高が大きく伸びました。

その結果、SPD事業は、売上高22億23百万円（前年同期比 45.8%増）、営業利益14百万円（前年同期比 54.3%増）となりました。

〈介護用品事業〉

営業拠点の新設により、迅速な対応によるサービス力の向上を図った他、営業エリアを拡大しました。この効果も加わり、在宅ベッドの新規レンタル契約が大きく増加しました。

その結果、介護用品事業は、売上高1億82百万円（前年同期比 8.6%増）、営業利益8百万円（前年同期 営業損失1百万円）となりました。

なお、「介護用品事業」はこれまで「その他事業」と表示しておりましたが、当第1四半期連結累計期間よりセグメント名を変更いたしました。詳細は、「(4)セグメント情報等」を参照ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は233億65百万円となり、前連結会計年度と比べ29億62百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が28億7百万円、受取手形及び売掛金が3億8百万円増加した一方で、商品が31百万円減少したことによるものであります。

また、負債は213億83百万円となり、前連結会年度と比べ、30億20百万円増加いたしました。主な要因は、短期借入金が34億6百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が91百万円、未払法人税等が1億73百万円、長期借入金が12百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は19億81百万円となり、前連結会計年度と比べ、58百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純利益により13百万円増加した一方で、配当金により56百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、1.5ポイント減少し、8.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

おおむね計画通りに推移しており、平成23年8月10日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき、作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,091,945	5,899,048
受取手形及び売掛金	10,482,676	10,790,936
商品	2,692,088	2,661,001
その他	821,847	719,498
流動資産合計	17,088,558	20,070,484
固定資産		
有形固定資産	2,253,633	2,254,738
無形固定資産		
のれん	208,149	196,768
その他	132,256	130,580
無形固定資産合計	340,405	327,349
投資その他の資産	720,323	712,844
固定資産合計	3,314,361	3,294,932
資産合計	20,402,920	23,365,417
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,894,807	13,803,779
短期借入金	2,094,926	5,501,676
未払法人税等	190,577	16,652
その他	812,224	693,961
流動負債合計	16,992,535	20,016,068
固定負債		
長期借入金	638,953	626,155
退職給付引当金	95,015	97,771
役員退職慰労引当金	553,906	566,597
その他	82,674	77,196
固定負債合計	1,370,549	1,367,720
負債合計	18,363,084	21,383,789
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	1,868,502	1,826,066
自己株式	△834,099	△834,099
株主資本合計	1,985,902	1,943,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,933	38,160
その他の包括利益累計額合計	53,933	38,160
純資産合計	2,039,835	1,981,627
負債純資産合計	20,402,920	23,365,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	14,724,627	15,591,595
売上原価	13,179,904	13,956,953
売上総利益	1,544,722	1,634,642
販売費及び一般管理費	1,482,350	1,580,163
営業利益	62,372	54,479
営業外収益		
受取利息	403	342
受取配当金	442	418
受取保険金	1,170	—
持分法による投資利益	122	268
貸倒引当金戻入額	—	5,343
その他	3,189	4,266
営業外収益合計	5,328	10,639
営業外費用		
支払利息	11,564	10,420
その他	1,806	654
営業外費用合計	13,371	11,074
経常利益	54,330	54,043
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,793	—
特別利益合計	3,793	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	58,123	54,043
法人税、住民税及び事業税	21,449	26,543
法人税等調整額	△951	13,826
法人税等合計	20,498	40,370
少数株主損益調整前四半期純利益	37,625	13,673
四半期純利益	37,625	13,673

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	37,625	13,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,799	△15,772
その他の包括利益合計	3,799	△15,772
四半期包括利益	41,424	△2,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,424	△2,099
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	12,122,289	938,901	1,495,153	168,283	14,724,627	—	14,724,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	544,015	4,533	29,602	—	578,150	△578,150	—
計	12,666,304	943,435	1,524,756	168,283	15,302,778	△578,150	14,724,627
セグメント利益 又は損失(△)	94,367	△10,360	9,211	△1,112	92,106	△29,734	62,372

(注)1 セグメント利益の調整額△29,734千円には、セグメント間取引消去178千円、各報告セグメントに配分しない  
 全社費用△29,912千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部  
 門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	12,150,956	1,066,178	2,191,750	182,710	15,591,595	—	15,591,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	769,663	6,443	31,850	80	808,037	△808,037	—
計	12,920,620	1,072,621	2,223,600	182,790	16,399,633	△808,037	15,591,595
セグメント利益 又は損失(△)	76,340	△16,542	14,209	8,166	82,173	△27,694	54,479

(注)1 セグメント利益の調整額△27,694千円には、セグメント間取引消去3,405千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△31,100千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、昨年度まで「その他」に含めておりました「介護用品事業」を独立したセグメントとして表示しております。これは「介護用品事業」において組織体制の変更があり、積極的な出店を行った結果、売上高、セグメント利益とも増加が見込まれることから、グループにおいて「介護用品事業」の重要性が高まったことによるものであります。

なお、報告セグメント「その他」の区分には「介護用品事業」しか属していなかったため、当第1四半期連結累計期間の表示区分より削除しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。